

北九州市議会議員 中村よしお(義雄)

北九州リハビリ報告

第11号 発行日 平成21年11月1日

発行責任者 北九州市議会議員 中村よしお



平成20年度決算議会報告

10月6日、平成20年度決算議会が終了しました。本市の財政状況は不景気の影響を受け企業市民税が減少し、生活保護費が増大する等、非常に厳しい状況であることが報告されました。

今議会では通算9回目の本会議質問に立ち、決算のあり方や市立病院の経営、新型インフルエンザ対策、等を質問しました。

内容は今回より本会議質問をインターネットで見られるようになりました。ぜひご覧下さい！！



3月議会に続き、2期目2回目の質問に立ちました。
もちろんノ一原稿質問です！！

<http://www.gikai-tv.jp/dvl-kitakyushu/2.html> (質問日:9月15日をクリックして下さい)

どうなる？市立病院 26億円の赤字と11億円の不良債務をかかえて

私は平成18年度決算議会以来、市立病院の危機を訴え、再建策を提案してきました。しかし、病院局は全く聞く耳を持たず、平成20年度決算では単年度で26億円を超える赤字、累積では11億円の不良債務状態であることが報告されました。また再建策として大赤字を抱える市立若松病院の売却もしくは指定管理者制度への移行を表明しました。医療専門議員の私としては今までやるべきことをやっていない、議会からの経営改善の指摘や提案を殆ど無視したような形で進めてきたことに怒りさえ感じます。例えば今年から指定管理者制度になった門司病院は建物の借金が約45億円あるにもかかわらず、家賃は一切取らない等、常識では考えられない運営を行っています。今議会では責任の取り方について追及しましたが、「職員が一丸となって経営改善に取り組んでいく」という答弁でした。少なくともいつまでに改善するかの見通しを示せと市長質疑でも追求しましたが、納得の出来る答えはありませんでした。

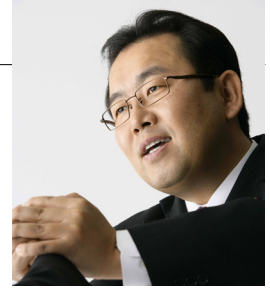
市民の代表として改めて、民間の感覚で追求していくことが大切だと感じました。



発行責任者 北九州市議会議員 中村よしお

中村よしお事務所
北九州市小倉北区足原2丁目1-39

電話 093(932)8533
FAX 093(922)8277
Email: nakamura-y3226@nifty.com



<今年からこんなことも始めました>

今年の4月より地元足原校区の**足立北町内自治会長**になりました。昨年までは小倉北区PTA連合会会長・霧丘中学校PTA会長とPTAのお手伝いをやって参りましたが、町内会長になってその仕事の多さにびっくりです。定期的な仕事としては月2回の市政だより配布や町内会長会の出席、回覧板の配布等あり、臨時の業務としては敬老会や体育祭等の校区行事、バスハイクやグランドゴルフ大会等の町内行事等々、目白押しです。各校区の自治連合会長さんや町内会長さん、役員の皆さんに改めて感謝です。

また9月より**保護司**になりました。全く経験のない仕事なので私に出来るかどうか心配ですが、一生懸命頑張っていくつもりです。

地域づくりは北九州市の大きな課題です。町内会長や保護司の仕事を通してどうしたら安心して住める地域づくりが出来るのかを勉強していきたいと思います。

肺炎球菌ワクチンを知っていますか？

高齢者の方に耳寄り情報！！

みなさん『肺炎球菌ワクチン』はご存じでしょうか？このワクチンを接種しておけば、肺炎球菌による**肺炎の8割は防ぐことができます**。肺炎にかかりにくくするだけでなく、かかっても重症化させない効果や抗生物質を効きやすくする効果もあります。

一回接種すれば**5年間効果が続きます**し、副作用も季節性のインフルエンザワクチンと同様程度といわれています。

肺炎は日本人の死因第4位です。その多くが高齢者の方です。新型インフルエンザワクチンが高齢者の方に届かない現状の中で、『肺炎球菌ワクチン』の接種をお勧めします。

費用は1回が大体7～8,000円程度です。9月の段階で全国140以上の自治体で『肺炎球菌ワクチン』の助成が始まっています。私も今回の9月議会本会議で北橋市長

に対して、公費助成とPRを命に関わることで、何をおいても政治家の判断でやって欲しいと訴えました。PRは市政だよりやパンフレットで行っていくようですが、公費助成は直ぐには取りかかれぬという答弁であり、とても残念でした。

命はお金で買えません！

70歳以上の方は『肺炎球菌ワクチン』の接種をお勧めします！！

